本別町 防災ガイドマップ

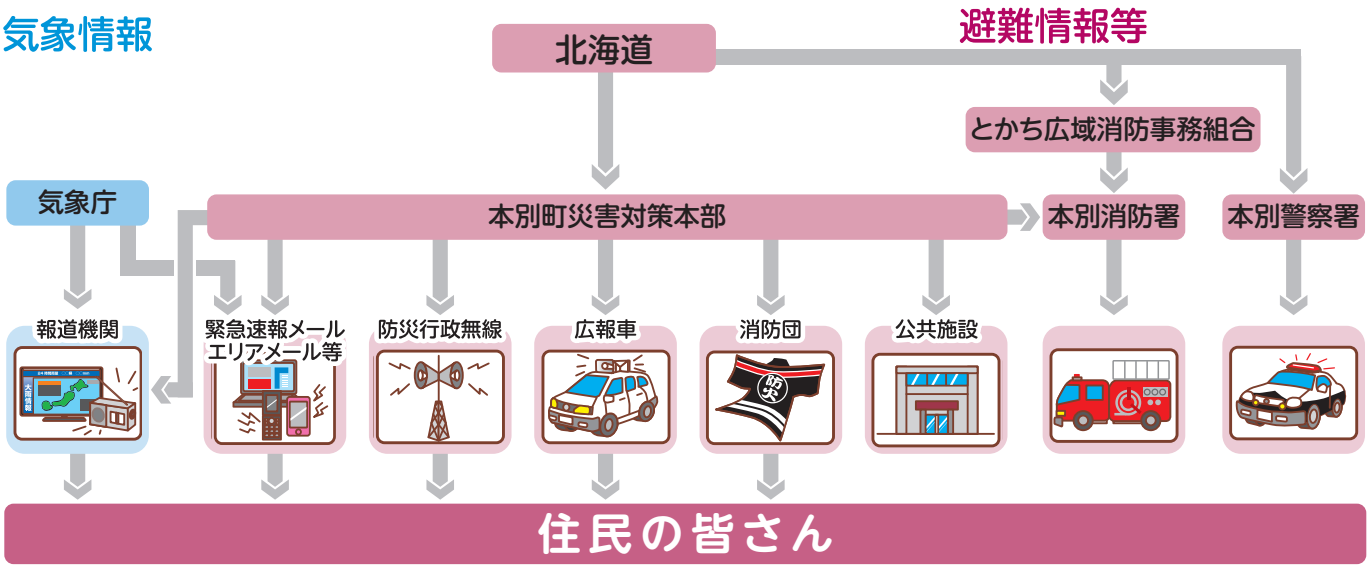
保存版

避難情報等（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）		
				防災気象情報（警戒レベル相当情報）		
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等		浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5	災害発生又は切迫	**命の危険　直ちに安全確保！** ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！ ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
＜ 警戒レベル4までに必ず避難！ ＞						
4	災害のおそれ高い	**危険な場所から全員避難** ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	**危険な場所から高齢者等は避難** ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報	―――
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	―――	―――

防災情報の伝達と入手　1
避難施設一覧　2
洪水・浸水害について　3
土砂災害について　4
わが家の防災対策　5
備蓄品および非常持ち出し品　6
市街地区①　7・8
市街地区②　9・10
南地区　11・12
北地区　13・14
わが家の「緊急・救急情報」防災メモ　巻末

防災情報の伝達と入手

防災情報の伝達



防災情報の入手

本別町の情報

- 避難指示などの発令情報
- 避難所開設情報
- 各種災害情報

■本別町ホームページ
https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/index.html
本別町

北2丁目4-1　電話 22-2141

■本別消防署
北2丁目4-1　電話 22-2007

■本別警察署
北1丁目4-20　電話 22-0110

■勇足駐在所
勇足元町4-3　電話 23-2151

気象の情報

- 気象情報・注意報
- 台風・洪水・土砂災害などの防災気象情報

■帯広測候所ホームページ
https://www.jma-net.go.jp/obihiro/
帯広測候所

土砂災害の情報

- 土砂災害警戒情報

■北海道土砂災害警戒情報システム
https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/
北海道土砂災害警戒情報システム

水位の情報

- 雨量情報
- ダム情報
- 水防警報
- 水位情報
- 洪水予報
- ライブカメラ

■国土交通省「川の防災情報」
https://www.river.go.jp/index
「川の防災情報」

テレビ・ラジオ

テレビのニュースや天気予報だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送されています。

避難施設一覧

指定避難場所

番号	避難場所	住　所(中川郡本別町)	面積(㎡)	避難可能な災害の種類					避難対象地域	掲載頁
				洪水	土砂災害	地震	大規模火災	内水氾濫		
1	町民憩いの広場	北2丁目	7,200		○	○	○	○	北1、2、3丁目、南1、2丁目	P7-8
2	中央公園	北5丁目	1,100	○	○	○	○	○	北4、北5、北6丁目	P9-10
3	清流公園	北5丁目	12,000		○	○	○	○	北4、北5丁目、清流町	P9-10
4	旧南保育所園庭	南4丁目	900		○	○	○	○	南3、南4丁目	P7-8
5	ふれあい交流館駐車場	向陽町	2,000	○	○	○	○	○	向陽町、柏木町	P7-8
6	北公園	北8丁目	1,400	○	○	○	○	○	北7、北8丁目	P9-10
7	南公園	南4丁目	2,000		○	○	○	○	南4丁目	P7-8
8	向陽公園	向陽町	1,700	○	○	○	○	○	東町、朝日町	P7-8
9	新町公園	新町	1,200	○	○	○	○	○	新町	P9-10
10	みどり公園	緑町	1,000	○	○	○	○	○	緑町、柳町、坂下町	P7-8
11	旧子育て支援センター園庭	新町	2,100		○	○	○	○	新町	P9-10
12	錦町児童公園	錦町	900	○	○	○	○	○	錦町	P9-10
13	本別生活館園庭	柏木町	1,100	○	○	○	○	○	柏木町	P7-8
14	南1丁目ちびっこ広場	南1丁目	390		○	○	○	○	南1、南2丁目	P7-8
15	栄公園	栄町	1,200		○	○	○	○	栄町	P9-10
16	共栄緑地公園	共栄	1,100	○	○	○	○	○	共栄	P7-8
17	銀河アリーナ前広場	山手町	1,200	○	○	○	○	○	山手町、朝日町	P7-8
18	本別中央小学校グラウンド西側	弥生町	2,000	○	○	○	○	○	弥生町	P7-8
19	勇足小学校グラウンド西側	勇足元町	2,000	○	○	○	○	○	勇足元町	P11-12
20	仙美里小学校グラウンド東側	仙美里元町	2,000	○	○	○	○	○	仙美里元町	P13-14
21	道の駅広場	北3丁目	3,498	○	○	○	○	○	朝日町、北4丁目	P7-8
22	旧本別営林署苗畑用地	南3丁目	18,247		○	○	○	○	南2、3丁目	P7-8
23	光仙寺駐車場	栄町	2,600		○	○	○	○	栄町	P9-10
24	上本別生活館駐車場	上本別	1,700	○	○	○	○	○	上本別	P13-14
25	義経の館駐車場	東町	3,000	○	○	○	○	○	東町	P7-8

指定避難施設(一般)・(福祉避難所)

番号	施　設　名	住　所(中川郡本別町)	避難所の種類		収容人数	掲載頁
			一般避難所	福祉避難所		
1	中央公民館	北1丁目	○		291	P7-8
2	老人福祉センター	北1丁目	○	○	92	P7-8
3	本別町体育館	北2丁目	○		316	P7-8
4	健康管理センター	北6丁目	○	○	133	P9-10
5	ふれあい交流館	向陽町	○	○	80	P7-8
6	柔剣道場	弥生町	○		160	P7-8
7	本別中央小学校	弥生町	○		353	P7-8
8	本別中学校	弥生町	○		420	P7-8
9	本別高等学校	弥生町	○		335	P7-8
10	児童発達支援センター	北5丁目	○		260	P9-10
11	世代交流館	南4丁目	○		40	P7-8
12	こども園ほんべつ	南3丁目	○		180	P7-8
13	北地区交流センター	北8丁目	○		50	P9-10
14	栄町児童館	栄町	○		55	P9-10
15	本別生活館	柏木町	○		46	P7-8
16	勇足小学校	勇足元町	○		200	P11-12
17	勇足中学校	勇足元町	○		250	P11-12
18	勇足地区公民館	勇足元町	○	○	144	P11-12
19	勇足保育所	勇足元町	○		53	P11-12
20	仙美里小学校	仙美里元町	○		200	P13-14
21	旧仙美里中学校	仙美里元町	○		210	P13-14
22	仙美里地区公民館	仙美里元町	○	○	85	P13-14
23	農業大学校	仙美里ヶ丘	○		427	P13-14
24	美里別地区公民館	美里別東上	○		100	P13-14
25	西美里別地区農作業準備休憩施設	負箙1	○		44	P11-12
26	押帯地区集会場	押帯	○		51	P11-12
27	上押帯地区農作業準備休憩施設	上押帯	○		49	P13-14
28	美帯地区農作業準備休憩施設	美蘭別	○		30	P11-12
29	美里別中地区集会場	美里別西中	○		68	P11-12
30	新明台地区集会場	新生	○		49	P13-14
31	銀河アリーナ	山手町	○		500	P7-8
32	道の駅(多目的ホール)	北3丁目	○		54	P7-8
33	南地区集会場	南2丁目	○		40	P7-8
34	新町集会場	新町	○		25	P9-10
35	共栄集会場	共栄	○		35	P7-8
36	上本別生活館	上本別	○		45	P13-14
37	美里別西上地区農作業準備休憩施設	美里別西上	○		50	P13-14
38	義経の館	東町	○		90	P7-8
39	総合ケアセンター	西美里別		○	75	P7-8
40	勇足生きがい館	勇足元町		○	30	P11-12
41	あいの里交流センター	北6丁目		○	70	P9-10
42	清流の里	北6丁目		○	70	P9-10
43	ゆうあいの里	勇足元町		○	45	P11-12
44	陽だまりの里	仙美里元町		○	60	P13-14
45	アメニティ本別	西美里別		○	170	P7-8
46	地域共生ホーム「きらり」	緑町		○	20	P7-8

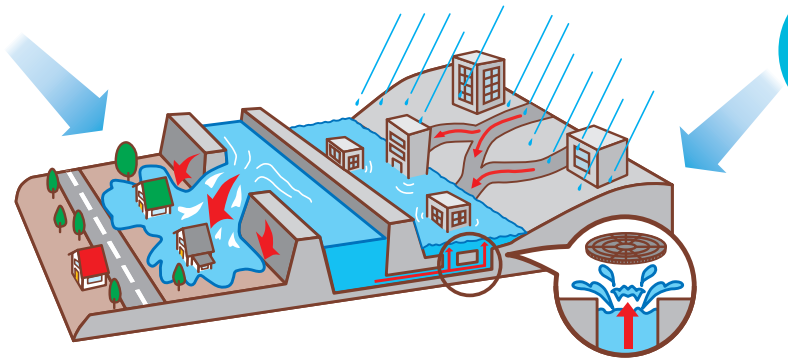
洪水・浸水害について

氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の２タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。
氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。

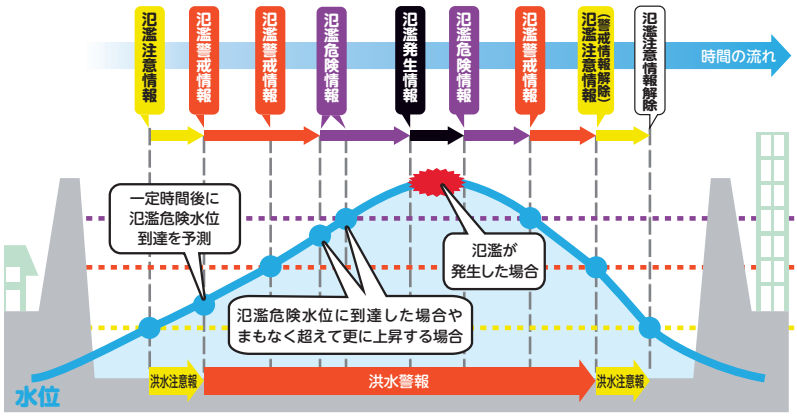


内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。
的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



河川名	利別川
観測所	利別水位観測所
氾濫危険水位（レベル４水位）	14.60
避難判断水位（レベル３水位）	14.10
氾濫注意水位（レベル２水位）	12.60
水防団待機水位	12.00

（単位：m）

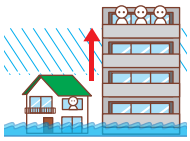
避難行動のポイント、危険な場所

浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。
気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。

状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。
水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。

川や用水路に近づかない

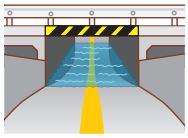
降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。
やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子の確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。

地下室、地下街は危険

地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。

アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。
場所を把握し、迂回路を想定しておく。



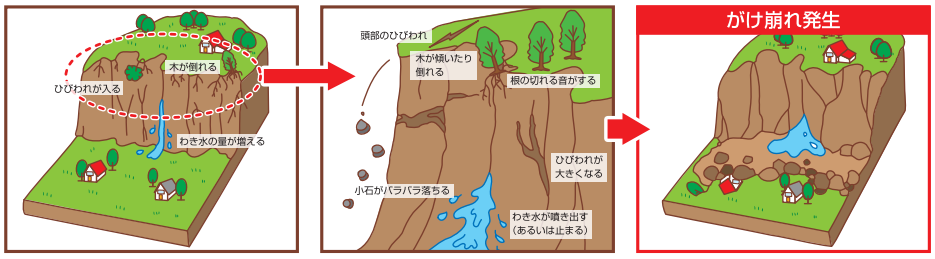
（ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集）

土砂災害について

土砂災害の種類

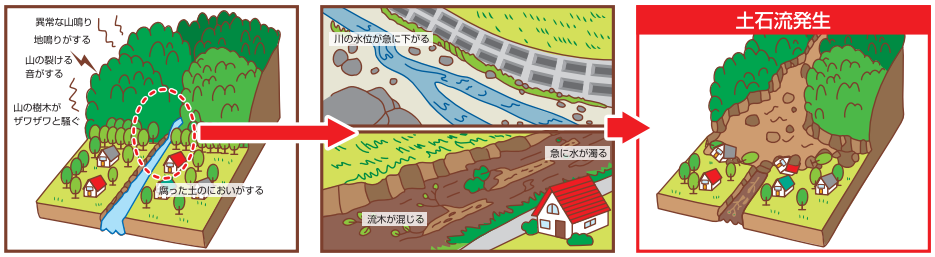
がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



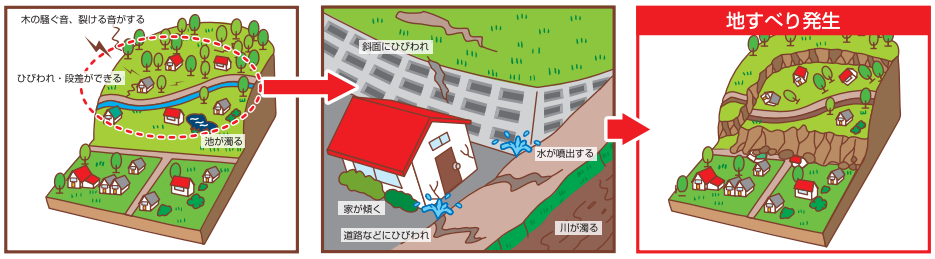
土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

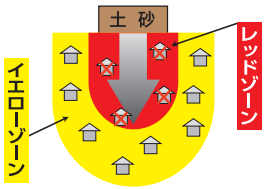


※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

土砂災害　特別警戒区域（レッドゾーン）	建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害　警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害のおそれがある区域



避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。
上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に感じられるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

1. 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く退避する。
2. 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の堅牢な建物の高層階へ避難する。

3. 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。

わが家の防災対策

家の中の安全対策 ●事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

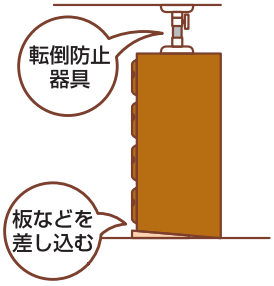
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋にはできるだけ家具を置かない

就寝中に地震に襲われると家具が倒れるおそれがあり危険。やむをえず置く場合は、なるべく背の低い家具にするとともに、寝ている場所に倒れないよう、また出入口をふさがないよう、向きや配置を工夫する。

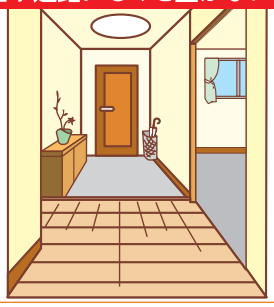
家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



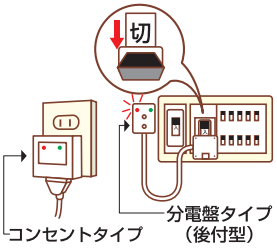
安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



電気火災発生の防止

地震による火災の原因の多くは電気が関連。電気ストーブや電気コンロの転倒や、停電復旧時の通電火災（破損した電気コードのショートによる出火など）がある。
電気火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置が有効。



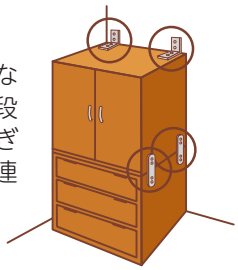
手の届くところに防災品を備える

夜間就寝時、停電になると周囲の確認ができず危険。
地震の場合はガラスが散乱したり、部屋に閉じ込められることもある。普段寝る場所から手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを。

家具の転倒、落下を防ぐポイント ●事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

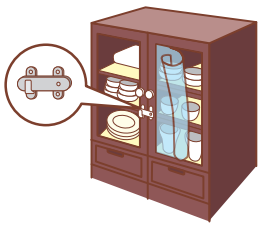
タンス・本棚

L 字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



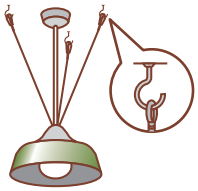
食器棚

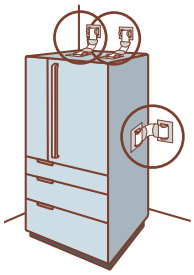
L 字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



照明

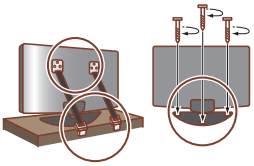
チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。





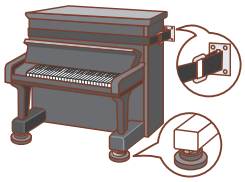
冷蔵庫

所定の取り付け場所（運搬用取っ手など）を転倒防止ベルトで壁や柱に固定する。



テレビ

テレビ台とテレビを直接固定するのが有効。脚などに専用の取り付け箇所がある場合はボルト等で取り付け、そうでないものは転倒防止ベルトなどで固定する。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

備蓄品および非常持ち出し品

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。
災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。
以下は一例です。とくに非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性15kg　女性10kgが目安)

非常持ち出し品

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい

貴重品

- 現金　※公衆電話用に硬貨も
- 印鑑
- 家や車の予備鍵
- 証書類のコピー
  (健康保険証、免許証、通帳、保険証書、権利書など)

情報収集用品

- 携帯ラジオ　※予備電池も
- 携帯電話(スマートフォン)の充電器
- モバイルバッテリー　※ライト付きが便利
- 筆記用具

非常飲食品など

- 非常食　※軽く高カロリーのもの
- 飲料水
- 給水袋
- 万能ナイフ

衛生用品

- 救急セット　※常備薬も
- タオル
- マスク
- 消毒液
- 体温計
- トイレットペーパー
- ウェットティッシュ
- ビニール袋
- 下着類

安全用品

- 懐中電灯　※予備電池も
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- スリッパ
- 笛やブザー　※居場所を知らせるもの
- マッチ・ライター
- 毛布・保温シート
- 使い捨てカイロ

備蓄品

●少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備

- 飲料水　※1人1日3ℓ
- 食品　※アルファー化米、長期保存食品など専用品の他、下記ローリングストックの活用を
- 給水用ポリタンク・バケツ
- カセットコンロ・ガスボンベ
- 使い捨ての食器類
- 食品用ラップ
- ランタン
- 災害用トイレセット
- からだ拭きシート
- 水のいらないシャンプー
- ガムテープ
- ビニールシート

上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

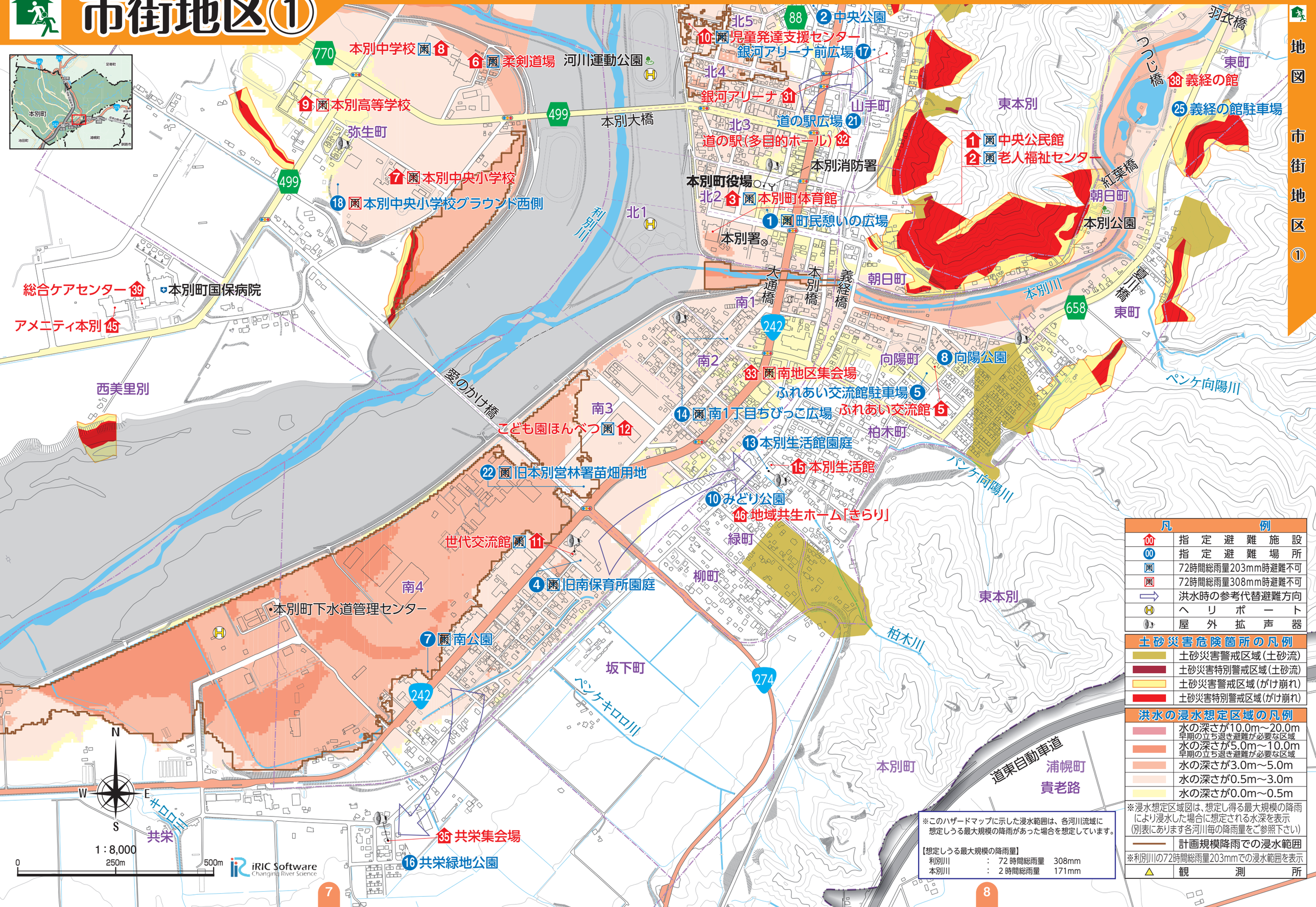
定期的に点検を!　いざというときに支障がないように食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

ローリングストックについて

備蓄専用の保存食なども大切ですが、
普段から少し多めに食料品や日用品を買っておき、
使った分だけ新しく買い足していくことで、
常に一定量の備蓄を自宅に確保しておくことを
ローリングストックと言います。
日常生活の中に、非常備蓄を上手に組み込みましょう。

―対象品目の例―
ペットボトルの水や飲み物、レトルト食品、インスタント食品、お菓子、乾麺、缶詰、乾物、漬物、カセットコンロのボンベ、ウェットティッシュ、トイレットペーパー、食品用ラップ、ビニール袋、乾電池、使い捨てカイロ

市街地区①



凡	例
00	指定避難施設
00	指定避難場所
雨	72時間総雨量203mm時避難不可
雨	72時間総雨量308mm時避難不可
⇨	洪水時の参考代替避難方向
H	ヘリポート
	屋外拡声器

土砂災害危険箇所の凡例
土砂災害警戒区域(土砂流)
土砂災害特別警戒区域(土砂流)
土砂災害警戒区域(がけ崩れ)
土砂災害特別警戒区域(がけ崩れ)

洪水の浸水想定区域の凡例
水の深さが10.0m～20.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
水の深さが5.0m～10.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
水の深さが3.0m～5.0m
水の深さが0.5m～3.0m
水の深さが0.0m～0.5m

※浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の降雨により浸水した場合に想定される水深を表示(別表にあります各河川毎の降雨量をご参照下さい)

	計画規模降雨での浸水範囲

※利別川の72時間総雨量203mmでの浸水範囲を表示

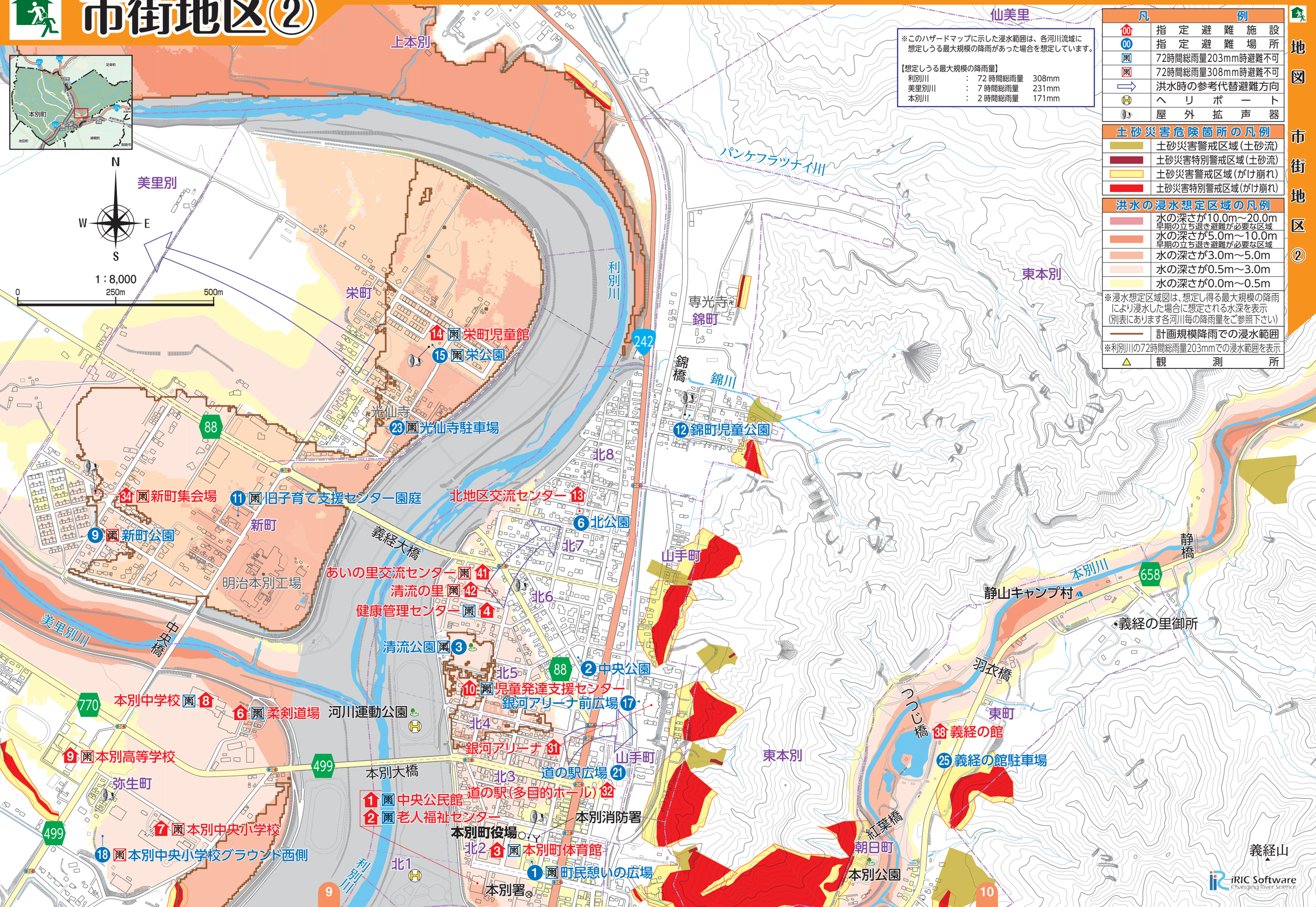
△	観測所

※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

利別川	：	72時間総雨量 308mm
本別川	：	2時間総雨量 171mm

市街地区②



※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

利別川	：	72時間総雨量	308mm
美里別川	：	7時間総雨量	231mm
本別川	：	2時間総雨量	171mm

凡例	
00	指定避難施設
00	指定避難場所
雨	72時間総雨量203mm時避難不可
雨	72時間総雨量308mm時避難不可
⇨	洪水時の参考代替避難方向
H	ヘリポート
	屋外拡声器

土砂災害危険箇所の凡例
土砂災害警戒区域（土砂流）
土砂災害特別警戒区域（土砂流）
土砂災害警戒区域（がけ崩れ）
土砂災害特別警戒区域（がけ崩れ）

洪水の浸水想定区域の凡例
水の深さが10.0m～20.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
水の深さが5.0m～10.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
水の深さが3.0m～5.0m
水の深さが0.5m～3.0m
水の深さが0.0m～0.5m

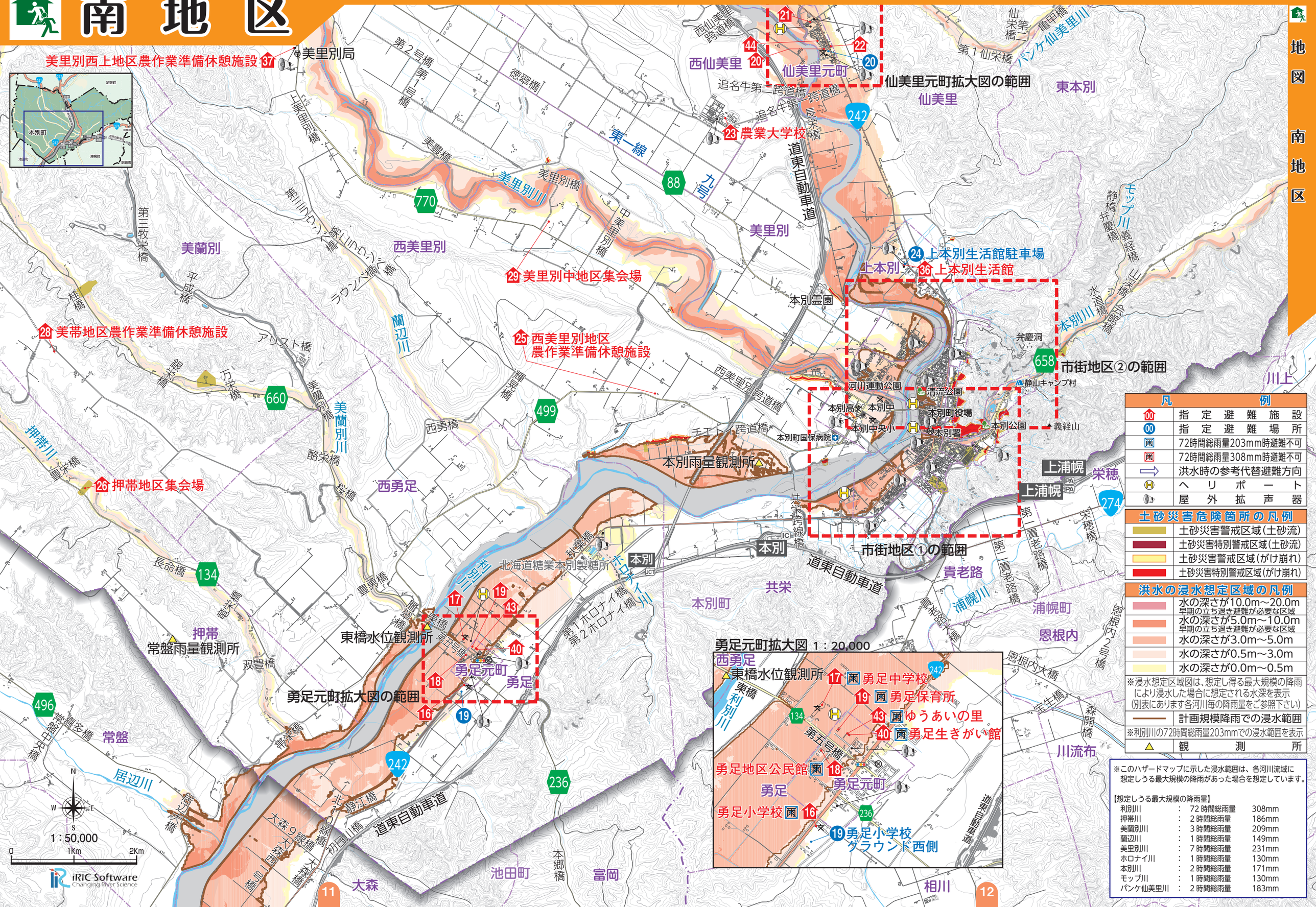
※浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の降雨により浸水した場合に想定される水深を表示（別表にあります各河川毎の降雨量をご参照下さい）

―	計画規模降雨での浸水範囲

※利別川の72時間総雨量203mmでの浸水範囲を表示

△	観測所

南地区



凡例	
00	指定避難施設
00	指定避難場所
雨	72時間総雨量203mm時避難不可
雨	72時間総雨量308mm時避難不可
⇨	洪水時の参考代替避難方向
H	ヘリポート
	屋外拡声器

土砂災害危険箇所の凡例
土砂災害警戒区域（土砂流）
土砂災害特別警戒区域（土砂流）
土砂災害警戒区域（がけ崩れ）
土砂災害特別警戒区域（がけ崩れ）

洪水の浸水想定区域の凡例	
	水の深さが10.0m～20.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
	水の深さが5.0m～10.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが0.5m～3.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

※浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の降雨により浸水した場合に想定される水深を表示（別表にあります各河川毎の降雨量をご参照下さい）

	計画規模降雨での浸水範囲

※利別川の72時間総雨量203mmでの浸水範囲を表示

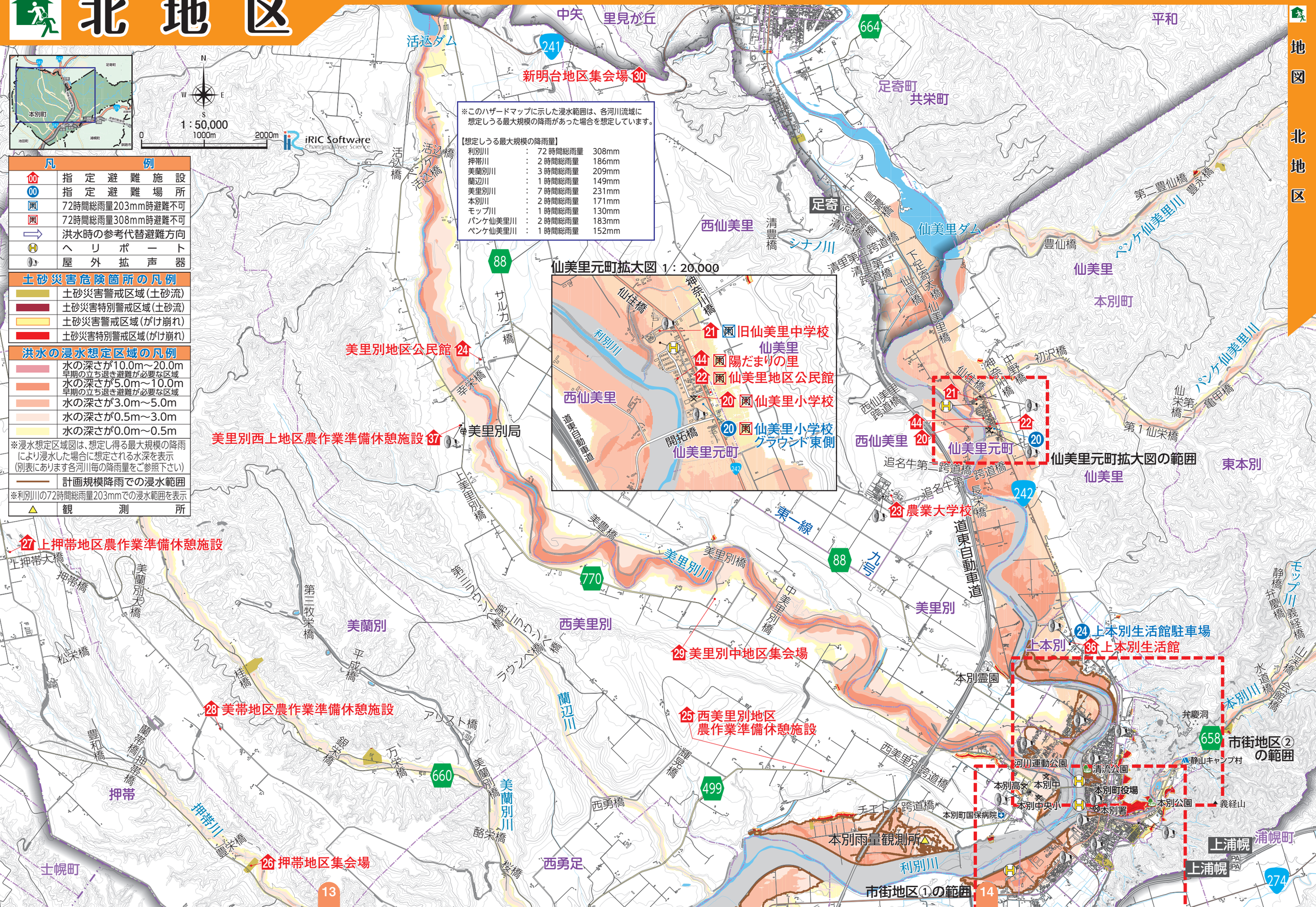
△	観測所

※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

利別川	：	72時間総雨量 308mm
押帯川	：	2時間総雨量 186mm
美蘭別川	：	3時間総雨量 209mm
蘭辺川	：	1時間総雨量 149mm
美里別川	：	7時間総雨量 231mm
ホロナイ川	：	1時間総雨量 130mm
本別川	：	2時間総雨量 171mm
モップ川	：	1時間総雨量 130mm
パンケ仙美里川	：	2時間総雨量 183mm

北 地 区


1：50,000
0 1000m 2000m
iRIC Software
Changma River Science
凡 例
指定避難施設
指定避難場所
72時間総雨量203mm時避難不可
72時間総雨量308mm時避難不可
洪水時の参考代替避難方向
ヘリポート
屋外拡声器
土砂災害危険箇所の凡例
土砂災害警戒区域（土砂流）
土砂災害特別警戒区域（土砂流）
土砂災害警戒区域（がけ崩れ）
土砂災害特別警戒区域（がけ崩れ）
洪水の浸水想定区域の凡例
水の深さが10.0m～20.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
水の深さが5.0m～10.0m 早期の立ち退き避難が必要な区域
水の深さが3.0m～5.0m
水の深さが0.5m～3.0m
水の深さが0.0m～0.5m
※浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の降雨により浸水した場合に想定される水深を表示（別表にあります各河川毎の降雨量をご参照下さい）
計画規模降雨での浸水範囲
※利別川の72時間総雨量203mmでの浸水範囲を表示
観測所
※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。
【想定しうる最大規模の降雨量】
利別川 ： 72時間総雨量 308mm
押帯川 ： 2時間総雨量 186mm
美蘭別川 ： 3時間総雨量 209mm
蘭辺川 ： 1時間総雨量 149mm
美里別川 ： 7時間総雨量 231mm
本別川 ： 2時間総雨量 171mm
モップ川 ： 1時間総雨量 130mm
パンケ仙美里川 ： 2時間総雨量 183mm
ペンケ仙美里川 ： 1時間総雨量 152mm
仙美里元町拡大図 1：20,000
21 旧仙美里中学校
44 陽だまりの里
22 仙美里地区公民館
20 仙美里小学校
20 仙美里小学校グラウンド東側
仙美里元町拡大図の範囲
市街地区①の範囲
市街地区②の範囲
27 上押帯地区農作業準備休憩施設
28 美帯地区農作業準備休憩施設
26 押帯地区集会場
29 美里別中地区集会場
25 西美里別地区農作業準備休憩施設
24 上本別生活館駐車場
36 上本別生活館
23 農業大学校
37 美里別西上地区農作業準備休憩施設
24 美里別地区公民館
30 新明台地区集会場
足寄IC
活込ダム
仙美里ダム
本別雨量観測所
本別霊園
本別町国保病院
本別町役場
本別署
本別公園
清流公園
河川運動公園
静山キャンプ村
義経山
兵庫洞
本別高
本別中
本別中央小
上浦幌
上浦幌町
道東自動車道
第一線
九線
利別川
本別川
美里別川
ペンケ仙美里川
パンケ仙美里川
モップ川
蘭辺川
押帯川
美蘭別川
中矢
里見が丘
平和
足寄町
共栄町
西仙美里
仙美里
本別町
西美里別
美蘭別
押帯
東本別
士幌町
浦幌町
13
14

わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

家族の集合場所

集合場所	避難施設・避難場所	連絡方法

家族の連絡先及び救急情報

氏　名	続柄	電話番号(自宅・携帯)	電話番号(会社・学校)	生年月日	血液型	救急情報(持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

親族・知人

氏　名	間柄	電話番号

かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

緊急ダイヤル

消防へ火事・救急・救助の連絡 **119**

警察へ事件・事故の連絡 **110**

海上の事件・事故の連絡 **118**

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます

171 に電話する

- **伝言を残す**には **1** を押す
- **伝言を聞く**には **2** を押す

※市外局番からダイヤルしてください

被災地の電話番号、携帯電話などの電話番号 をダイヤルする

- 伝言を残す
- 伝言を聞く

「この地図は本別町長の承認を得て、本別町発行の1/2,500都市計画図を使用し、調製したものである。(承認番号)令3本建第9号」
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 293−1137 号」
JIS Z 8210　避難所（建物）

令和4年12月発行